

三、追 録

左記諸士は戊辰の役以外の戦死者であるけれども、戊辰前後藩の為に殉難し、又はその精神においては戦死者に準ずべきものにつき、茲に追録する。

五百石 久保村文四郎殺害事件
明治六年六月六日越後酒屋自刃 伴 百悦 四七

問者として長州に入り込み元治 神 戸 岩 藏 二〇
か慶應の初年頃捕殺せらる

明治三年八月十一日白坂村吏大 熊藏 伴
平八郎が戊辰の役西軍嚮導の罪 田 邊 軍 次 三
を責め斬殺して自刃す

百 石 武之助弟鐵治養子
明治二年五月廿四日東京淺草見 能 見 傳 治
付にて捕斬せらる

百五十石 公用人、文久三年九月朔日十津
川一揆に付視察中郡山藩士に間 松 板 三 内
謀と誤られ闘死

明治三四年の頃川原町橋の邊に
て捕吏と格闘して死す 香 坂 忠 治 二六

大法寺住職
明治四年七月十日捕斬せらる 坂 井 義 清 三七

○ 別 記

戊辰の役の関係生害者

新撰組頭四月三日流山に捕ハレ 近 藤 勇
同二五日夜橋に於て生害

風隊指図役 佐倉藩士 小 芝 小次郎
八月二五日日新館に於て生害

慶山大龍寺に建碑された小笠原藩戦死者

唐津藩小笠原図書頭家士勝軍山ノ備ニ参加シ八月二一日同所
ニ戦死ノ人名ヲ載ス明治六年小笠原家ニ於テ東山村字慶山大
龍寺ニ建碑

市 川 熊 雄
吉 倉 冕 三 郎
水 野 忠 右 門
高 須 大 次 郎
田 部 鉄 三 郎
吉 川 七 之 助

官兵衛弟
別撰組、慶應三年十二月十一日 佐川又四郎 三
京都中立賣屋敷前闘死
外三郎先代
京都に於て浮浪激徒逮捕の際
誤って土佐藩士を傷つけ元治元
年六月十三日引責自刃 柴 司 三